

告 辞

晴れの卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。

今、皆さんは、それぞれの道を歩むにあたり、期待に胸をふくらませ、決意を新たにしていることと思います。

現在、グローバル化や技術革新の急速な進展により、将来の変化を予測することが困難な時代になっています。このような時代に生きる皆さんには、新たに生まれる課題に対して獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら解決していく力が求められてきます。皆さんがこれまでの学校生活で培った学ぶ姿勢、育んだ友情や思いやり、鍛えた心身は、今後の人生において力強い支えとなるに違いありません。

昨年9月、ラグビーワールドカップにおいて日本代表が、優勝候補の一つであった南アフリカ代表から勝利をあげました。24年間、ワールドカップでの勝利のない代表チームは、世界で勝つことを目標に掲げ、緻密な分析に基づいて、日本の特長を活かした戦い方を考え出し、世界一厳しいと言われる練習を重ねてきました。そこで身に付けた技術と体力、勝ちにこだわる姿勢が、終了直前、確実な引き分けをねらうキックではなく、逆転可能なスクラムを組むというチームの判断を生み出し、歴史的快挙につながったのです。強豪相手にも臆することなく、最後まで自分たちの力を信じ、チームが一丸となって勝利を目指す姿に、私たちは心を動かされました。

同じく12月には、梶田隆章^{たかあき}さんがノーベル物理学賞を、大村智^{さとし}さんがノーベル生理学・医学賞を受賞しました。受賞に際し、梶田さんは、研究者に必要な資質として、「タフでしなやか」であることを挙げています。自分の考えをしっかりと持ち続ける強さと他人の意見や考えにも耳を傾けるしなやかさを併せ持つことは、研究者だけではなく、皆さんにも必要なことです。また、土の中から、熱帯病の特効薬につながる微生物を発見した大村さんは、たとえ実験が失敗した時であっても、「この失敗が必ず役に立つんだと思いながら研究を続けることが大事だ」と述べています。いかなる状況に直面しても、物事を前向きにとらえ、柔軟な発想で課題を解決していく姿勢の大切さを学びました。

選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことにより、間もなく有権者として責任のある立場に置かれる皆さんには、状況を適切に判断しながら社会と主体的に関わり、一人一人が高い志をもって、活力に満ちた輝かしい未来を築いていくことを期待します。

皆さんを今日まで温かく見守り支えてくださった、保護者や先生方への感謝の思いを忘れずに、ふるさと石川に誇りと愛着を持ち、心豊かな人生を歩んでください。

皆さんの今後の健康と活躍を祈って、はなむけの言葉といたします。

平成28年3月

石川県教育委員会